

エコパークゾーンで実施した 環境保全創造施策の総合評価

平成 20 年 11 月

エコパークゾーン環境保全創造委員会

【 目 次 】

1. エコパークゾーン内のゾーニング
2. 環境保全創造施策の実施状況
3. 施策実施効果の確認
4. ゾーン毎の評価
5. とりまとめ(総括)
6. 今後の方向

1. エコパークゾーン内のゾーニング

エコパークゾーンについては、エコパークゾーン整備基本計画において、「自然と人の共生、エコロジカルな文明の創造をめざして」を基本理念とし、「豊かな生態系を構成する生物を育む場として、自然環境の質的向上を図るとともに、地域の特性を活かした潤いのある生活環境の形成や環境教育の場としての利用を行うなど、自然生態を活かした整備を図る」を基本的な方針として整備するとしており、ゾーン内各地域の環境特性、歴史性などのイメージ(表-1 ゾーンのイメージ)を考慮して、「御島ゾーン」「香住ヶ丘ゾーン」「和白干潟ゾーン」「海の中道ゾーン」の4つのゾーンに区分されています。(図-1)



図-1 エコパークゾーンのゾーニング

2. 環境保全創造施策の実施状況

また、エコパークゾーン整備基本計画では、各ゾーンの特性を反映した整備内容を設定しています。(表-1 整備の内容)

計画策定から現在に至るまでの間、整備内容に沿った環境保全創造施策が実施されてきました。(表-1 実施施策・時期、事業費) 施策の実施に当たっては、種々の施策に期待できる効果(表-2)を考慮して施策の選定が行われています。具体的には次のとおりです。

(1) エコパークゾーン全体に関わるもの

水質保全策として、下水道の整備と水処理センターでのリンや窒素の高度処理が行われています。(表-1)

(2) 御島ゾーン

歴史を活かした護岸整備や砂浜の改善、水質・底質の改善を図ることとしており、これまで歴史を活かした護岸整備や砂浜の改善のための養浜と、水質・底質改善のための覆砂、作濬、アマモ場造成を行っています。(表-1、図-2)

(3) 香住ヶ丘ゾーン

磯浜を保全するとともに環境整備として砂浜の保全・改善、安全性の向上、親水性の高い護岸整備、海岸へのアクセス整備を図ることとしており、これまで親水性が高く海岸へのアクセスができる海岸整備として、階段式護岸の整備を行っています。(表-1、図-3)

(4) 和白干潟ゾーン

自然生態を保全するとともに環境整備として生活環境の改善、レクリエーション空間や環境教育の場としての海岸整備、利用しやすい海岸線の整備、野鳥公園の整備(アイランドシティ内)、水質・底質の改善を図ることとしており、生活環境の改善としてのアオサ回収、環境教育の場として活用できる海辺の生き物の生息環境保全(創造)に配慮した護岸整備、水質改善のための水処理センターの放流口変更を行っています。(表-1、図-4)

(5) 海の中道ゾーン

砂浜の保全やレクリエーション空間としての保全をすることとしており、特段の環境整備は行っていません。(表-1、図-5)

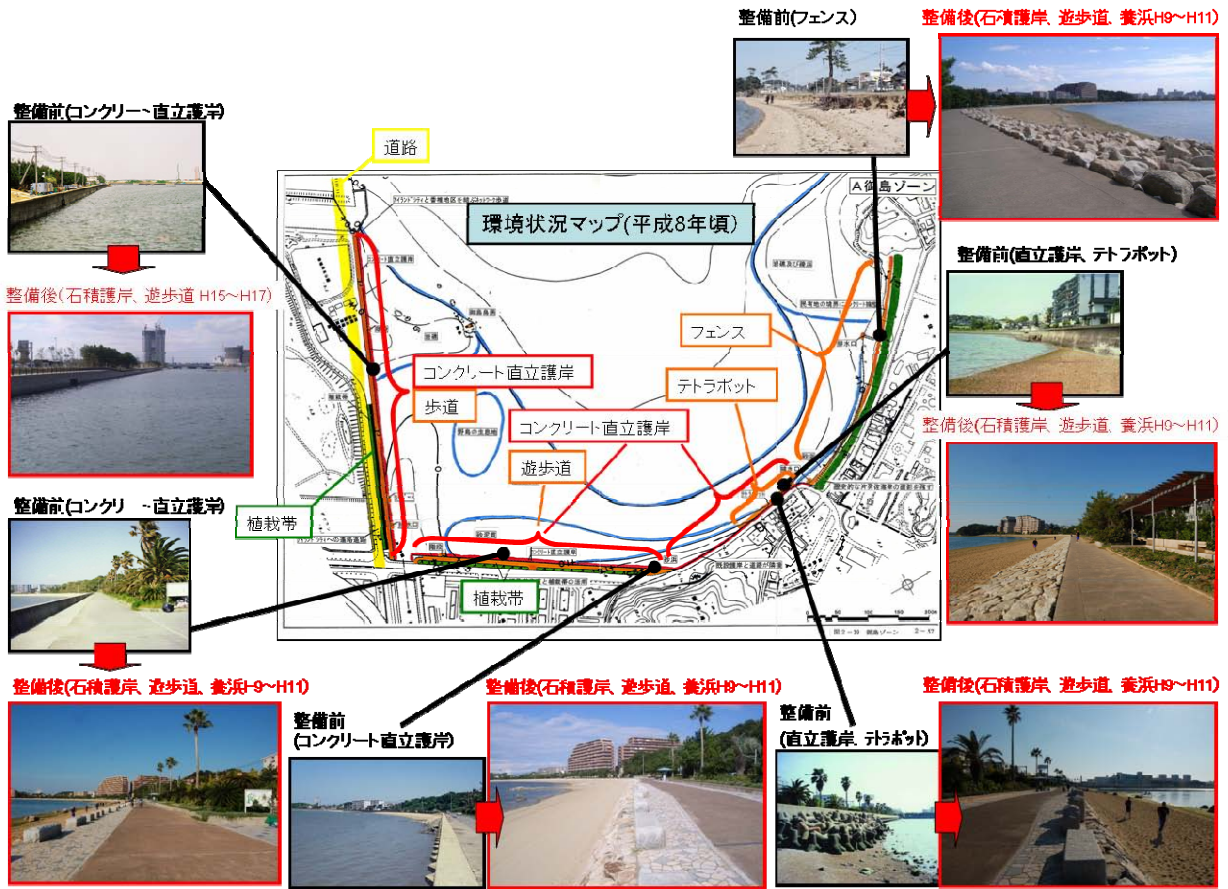
表－１ 各ゾーンのイメージと整備内容

ゾーン名		御島ゾーン	香住ヶ丘ゾーン	和白干潟ゾーン	海の中道ゾーン
エコ 整備 基本 計画	ゾーンのイメージ	歴史的要素を生かした憩いのゾーン	水辺と緑に親しむゾーン	干潟を中心とした豊かなのちを育むゾーン	砂浜に親しむゾーン
	整備の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史性を活かした海岸整備 ・砂浜の改善 ・水質・底質改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・磯浜の保全 ・砂浜の保全、改善 ・安全性の向上 ・親水性の高い海岸整備 ・海岸へのアクセス整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然生態の保全 ・生活環境の改善 ・レクリエーション空間や環境教育の場としての海岸整備 ・利用しやすい海岸線の整備 ・野鳥公園の整備 ・水質・底質の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂浜の保全 ・レクリエーション空間として保全
実施 施策・ 時期	下水整備・高度処理	福岡市水処理センター：リン除去処理(H5～H11)：窒素・リン同時除去処理(H19から一部着手)、流域下水道：H12から順次整備中			
	覆砂	H9～H17	—	—	—
	作濤	H10～H13	—	—	—
	アマモ場づくり	H17～	—	—	—
	石積護岸・海岸整備	H9～H17	H12	H15～	—
アオサ回収	—	—	H8～	—	
事業費	18.5億円	2.5億円	8億円	—	—

表－２ 施策に期待できる効果

施策		下水道整備 高度処理	覆砂	作濤	アマモ場 づくり	石積護岸 海岸整備	アオサ回収
水質・底質の改善	水質改善	◎	○	◎	○	○	○
	底質改善	○	◎	○	○	/	◎
生物生息環境の改善	鳥類生息数増加	○	○	○	○	○	/
	海生生物生息数増加	○	◎	○	◎	○	○
	塩沼地植生の保全	/	/	/	/	○	○
生活環境の保全	安全性の確保・悪臭の低減	○	○	○	○	◎	◎
人の利用の促進	海辺景観の向上	/	/	/	/	◎	◎
	ふれあいの場の増加	/	/	/	/	◎	/
	環境教育・学習の機会の増加	/	/	/	◎	◎	◎ (堆肥化等)

図-2 環境保全創造施策の実施状況（御島ゾーン）



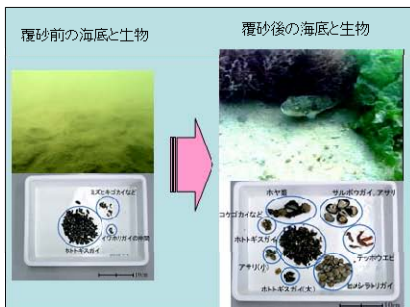
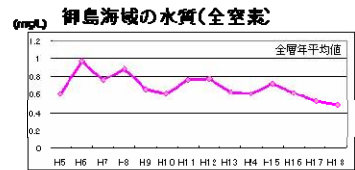
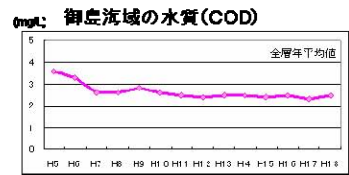
照葉小学校の児童とアマモ場シート作り



アマモ場と小魚



- 凡例
- 覆砂 (H9~H17、面積: 15.7ha)
 - 作深 (H10~H13、延長: 1300m)
 - アマモ場づくり (H17~H19、面積: 1850㎡)



覆砂区域での底生生物の種数の推移

